

その瞬間に、東芝。

## 京王電鉄様で導入。

鉄道が担う最大のミッションである「安全」のために、日々、全力を投入している大手私鉄を、東芝グループによる先進のシステムが支える。

東京都西部を中心に神奈川県北部にまたがる84.7kmを運行し、沿線の人々の通勤通学や行楽などの足として機能している京王電鉄。お客様にいつも安心してご利用いただけるように、安全対策には当然余念がない。2003年には、電力管理システムの刷新という画期的な取り組みに着手。そのパートナーに選ばれたのは、鉄道の公共性、特殊性を熟知しており、総合力で応えることのできる東芝グループだ。両社での長期にわたる試行錯誤の末に仕様が決定され、昨年6月から運用を開始したシステムは、電力管理だけでなく保全計測も統合した最先端のシステム。現場へ出向く前に、画面を通してリアルタイムで状況の詳細が把握でき、迅速かつ確な対応が可能になった。さらに、まったく同じ状況を再現して訓練ができるシミュレーター機能は、後進教育に大きな効果を生み出している。今後、京王電鉄は保全計測のデータを収集・分析して、よりいっそうの安全確保を目指す。東芝グループも独自のネットワークを駆使して、きめ細かなサポートを続けていく。

**東芝と東芝ソリューションによる  
電気鉄道向け電力管理・保全計測統合システム。**

輸送人員  
1日約**167万人**を守る。

電力管理と保全計測を統合したシステムの導入は、お客様一人ひとりの安全確保を徹底追求した結果です。

京王電鉄株式会社 鉄道事業本部 車両電気部  
電力指令長 桐生 守様 / 電力課 主任 松永 隆様 / 電力課 課長補佐 樋木 広様